

自然災害が起きた所へ

校長 下中 諭

元旦、串木野新港のフェリー乗り場で、切符を買っていたら、スマホが鳴り始め、次にテレビの放送で能登半島で起きた地震について放送が始まった。当初は震度5強で津波の心配はないとの事だったが、次に震度7の地震が2回起き、津波の発生について報道が始まった。フェリーの中のテレビでは、津波の危険性と直ちに高いところへ避難することを繰り返していた。これはとんでもないことと感じた。例年、元旦は楽しいTV番組が放送されているが、各テレビ局ともに最新の地震の状況と被災地の様子を放送していた。

このように大きな地震は2016年4月の熊本地震、2011年3月の東日本大震災、1995年1月阪神淡路大震災などが記憶にある。

熊本地震では、出水の米ノ津中に赴任していたが、出水でさえも震度4であり、寝ていたベッドから落ちそうになるほどであった。学校の校舎も一部ひび割れが起きていたが、日常に影響はなかった。しかし、熊本は熊本城が崩れるほどの被害があり、九州新幹線、国道等も通行止めとなっていた。出水市は熊本県の隣の市ということと、これまでも様々な自然災害等による被害に対し、支援を行っており、市の小中学校で募金活動をするが多かった。そのため、すぐに生徒会による募金運動が始まった。生徒会役員は校内、PTA総会の会場、近隣のスーパーなどに出向き、積極的に募金活動を行った。そして、出水市の小中学校は募金を一つにまとめ、社会福祉協議会を通じ、熊本への義援金を送った。また、東日本大震災で被害があった小中学校と交流があり、学校生活に不足しているものや欲しいものを、各小中学校で寄付を募り、「ツルの贈り物」として送っていた実績もあった。

東日本大震災では、始良市の重富中にいたが、生徒会の募金活動と合わせ、重富中の「おやじの会」が中心となり、バザーを企画し提供品の回収が始まった。そして、市内各小中学校「おやじの会」に呼びかけ、加音ホールでの催しものに合わせ一斉バザーを行い、収益金を義援金として送った。

1995年1月の阪神淡路大震災では、鹿児島市の緑丘中で4年目を迎えていた。学年職員室のテレビを見てみると刻々と被害の状況が浮かび上がってきて、その被害の大きさを知ることとなった。当時、南日本新聞では義援金の納めた団体名と寄付額を新聞に載せており、緑丘中生徒会も一生懸命に募金活動を行った。そして、100万円を越える寄付を集め、他にはない金額を義援金として送ったことが新聞に載った。

能登半島の被災地は、避難所から2次避難所が開設された。輪島市の中学生250人の受験生が親元を離れ、100Km離れた白山市の県施設に集団避難し、勉学に励んでいる状況もある。未だ復興とはほど遠い中、同じ中学生たちが慣

れない環境で苦勞しつつ、受験に備えていることを聞くとたいへん胸が痛い思いがする。募金やその金額、物品の寄贈だけが支援ではないが、遠く私たちにできることはないのだろうかと思う。

また、平穩な日々を送れることの有り難さと感謝の気持ちを忘れないことが大切ではないだろうか。

3学期始業式

1月9日(火)に3学期始業式を実施し、次年度の0学期とも言える、大切な3学期がスタート

しました。各学年代表の生徒が、冬休みの反省と今学期の決意表明をしました。

1年生代表の高山劉備さんは、「2学期の反省を踏まえ、冬休みは、宿題を計画的に済ませることができ、一歩成長することができました。また、メディア時間のコントロールもすることができました。3学期は、忘れ物を減らし、宿題を確実に済ませられるよう継続的に頑張りたい。」と反省から成長したい決意を述べました。

2年生代表の吉郷光祐さんは、「2学期の行事等での達成感や自信をつけた経験を生かし、3学期は3年生への0学期として、学習・生活・陸上と全てにおいて、今よりも自分に自信がもてるように、努力していきたい。」と最上級生となる自覚と責任を感じました。

3年生代表の迫田龍昇さんは、「入試を目前に、今までの勉強への取り組みを後悔しています。でも、後悔ばかりしてられないので、受験に向けて、『勉強のリズムの確立』、『見直しをしっかりとする』、『時間を大切にすること』という目標を立てました。達成できるようにみんなと一緒に頑張りたいです。」と入試目前の気迫を感じる3年生らしい決意となりました。

3学期は、新年度への0学期です。少ない授業日数ですが、生徒一人一人が輝くことのできる『魅力ある学期』になるよう、充実した日々になることを期待しています。



芸術鑑賞ワークショップ



1月18日(木)に「文化芸術による子供育成総合事業」による芸術鑑賞ワークショップを行いました。今年度は、公益社団法人「観世九阜会」による、「能楽を楽しんでみよう 仕舞『土蜘蛛』狂言『柿山伏』」という能楽についての公演があります。その本公演を前に、事前ワークショップを行い、能楽について歴史や構成などを学びました。また、実際に能面をつけての歩行体験や、蜘蛛の糸を切る体験等があり、普段見ることのない、能楽について学び、本公演が楽しみになるワークショップとなりました。

また、1月30日(火)には本公演を実施します。海星中校区の3小学校の5・6年生児童も参加し、芸術に触れる貴重な時間を過ごす予定となっています。

保護者の皆様も時間がございましたら、ぜひ、御覧ください。



鹿児島学習定着度調査



1月16・17日(火・水)に令和5年度の鹿児島学習定着度調査を行いました。毎年、中学1・2年生5教科で実施し、これまでの学習の定着状況や結果から分かる本校の学力の課題を明確することにより、授業改善等に生かす目的で実施しています。生徒は、これまでの学習の成果を発揮しようと、最後まであきらめず問題を解いていました。結果を基にさらなる『魅力ある授業』の実現に向けて全校体制で取り組んでいきます。結果が出ましたら、学校便りにてお知らせします。

小6・中1交流学習&入学説明会



1月23日(火)に海星中校区小学校の6年生を迎え、中学1年生と数学の授業での交流学習を実施しました。交流授業では、小学校での既習事項を活用し、数字を使ったゲーム等を通して交流をしました。

最初は児童・生徒ともに緊張していましたが、活動を通して、交流を深め、中学校での授業や生活を知る良い機会となりました。

また、交流学習後は、小学6年生保護者も一緒に、入学説明会を開催しました。生徒会による「海星中学校の一日」の動画視聴や学校の概要・生徒指導面の説明、制服採寸などを行いました。少しずつですが、中学生になるという自覚が芽生えたのではないのでしょうか。4月に初々しい姿で入学することを楽しみに待っています。

「魅力ある地域」に感謝！！



去る12月23日(土)に青瀬コミュニティセンターにて、正月門松づくりを行いました。青瀬の地域の方々の御協力により、生徒・職員も参加し、素晴らしい門松を製作することができました。今年から海星坂の入り口に設置しました。

また、冬休み中には、外水道を手打コミュニティ協議会迫田会長の御協力で、技術室前花壇付近に設置していただきました。花苗の灌水など環境美化に大いに役立ちます。地域の方々に感謝です。ありがとうございました！！

月	日	曜	主な行事予定 (変更の可能性あります)
2	1	木	普通救急救命講習(2年生) いじめのない学校づくりの日
	6	火	食に関する指導(2年生)
	9	金	家庭学習・生活リズムチェック週間～15日 学年末テスト前部活動停止期間～15日
	10	土	土曜授業
	14	水	学年末テスト～16日
	19	月	ラグビー教室(小5・6年生・中学生参加)
	21	水	授業参観・全体・学級PTA 立志式(2年生)
26	月	食に関する指導(3年生)家庭学習・生活リズムチェック週間～3/3	